

第14回コールチェリー さわやかコンサート2021

令和3年 5月23日 (日)

開演：午後1時30分 (開場：午後1時)
わたむきホール虹 大ホール



ふたりしずか



みやこわすれ



はっか草



- 第1部 自然を愛する歌のブーケ
- 第2部 「TOKYO 物語」より
- 第3部 うつろう委節



第14回コールチェリー さわやかコンサート 2021

令和3年5月23日日曜日お天気にも恵まれ、わたむきホール虹の大ホールにて「さわやかコンサート2021」を開催いたしました。新型コロナウイルス感染症の影響で、去年は延期を余儀なくなりましたが今年こそは、という部員一同の強い思いで準備を進めてきました。

今回は、スタッフも例年の年とは違い、2倍に増やし感染予防に努めて行いました。ご来場して頂いた方には、最初に検温をおこない次は消毒し、またご来場して頂いた方全員にお名前・連絡先をご記入頂き、若しもの時には連絡が取れるようにしました。また、大ホールの使用人数は700席ありますが、間隔をあけて座ってもらえるように350席が満席となりました。お陰様で、291名の方にお越し頂き、本当にありがとうございました。

このコロナ過の状況下で、沢山の方に応援していただき感謝申し上げます。

コロナ過で活動休止の時期もあり、先が見えず不安な日々があったなか、また仲間と一緒に歌えること、コンサートが開催できたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

次回のコンサートでは、マスクを取り歌える日が来ることを願っております。



第1部 自然を愛する歌のブーケ

みやこわすれ	野呂 昶	作詩／千原英喜	作曲
ふきのとう	野呂 昶	作詩／伊藤康英	作曲
ふたりしずか	野呂 昶	作詩／伊藤康英	作曲
りんどう	野呂 昶	作詩／伊藤康英	作曲
はっか草	野呂 昶	作詩／千原英喜	作曲

第1部は、練習時間を一番費やして行ないました。初めてマスクを装着したまま歌うことに決まり、皆様にちゃんと届けられるか心配でした。少し緊張気味に始まりましたが歌っているうちにマスクのことも気にならないくらい力が入ってしまいました。1部は、歌詞も用意しました。

はっか草の歌詞で

「あれから幾十年 私はひたすら生きて
母はもう とっくにこの世を去った
「はっか草のような人になりなさい」
私はついに
そのような人には なれなかったが
その声だけは 今も 今も
私の中で 気高く香っている

皆様に届いたでしょうか

第2部 「TOKYO物語」より

前奏曲

リンゴの唄	サトウハチロー	作詞／万城目 正	作曲／猪間道明	編曲
東京の花売娘	佐々詩正	作詞／上原げんと	作曲／猪間道明	編曲
東京ブギウギ	鈴木 勝	作詞／服部良一	作曲／猪間道明	編曲
青い山脈	西条八十	作詞／服部良一	作曲／猪間道明	編曲
銀座カンカン娘	佐伯孝夫	作詞／服部良一	作曲／猪間道明	編曲
時代	中島みゆき	作詞・作曲／夏原明後	編曲	
栄光の架橋	北川悠仁	作詞・作曲	／大田桜子	編曲

戦後の復興の様子から現在までを語りを変えて歌で表現しました。

度胸のいる衣装に身を包まれ、年甲斐もなく頑張っていました。戦後、復興していく姿を現在に置き換え、今、コロナ過で苦しいときにこそ皆で力を合わせて乗り越えたいと願うばかりです。

来賓として、堀江町長・安田教育長ともにご挨拶を頂きました。お忙しいところ恐縮でしたがお越しいただきありがとうございました。





第3部 うつろう季節

なごり雪	伊勢正三 作詞・作曲 / 岩河智子 編曲
さくら	森山直太郎・御徒町凧 作詩 / 森山直太郎 作曲
少年時代	井上陽水 作詞 / 井上陽水・平井夏美 作曲 / 大熊崇子 編曲
秋桜 (コスモス)	さだまさし 作詞・作曲 / 古寺七重 編曲
津軽海峡・冬景色	阿久 悠 作詞 / 三木たかし 作曲 / 江口泰央 編曲
春よ、来い	松任谷由美 作詞・作曲 / 鈴木憲夫 編曲

第3部、いよいよ終わりに近づいてきました。結成30年を迎え、一応集大成として届けたい思いで気持ちを一つにし、この仲間で歌えたことは皆様に感謝しかありません。今後とも、よろしくお願いたします。